

国語科

国語における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア	イ
【言語感覚】自分の考えを明確にし、書き表し方を工夫する力。	【漢字】言葉の意味や使い方を理解し、学習した漢字を用いる力。

	児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	ア 「は」「を」「へ」の使い分けや、句読点などを正確に記述すること。 長音・拗音・促音・撥音について正確に記述すること。 イ カタカナ・漢字の書きの習得に時間がかかっていること。	ア プログラミングで助詞の使い方の確認をする。長音・拗音・促音・撥音を書く際に、プロジェクターでスクリーンにノートを映すなどICTを活用し、正確にノート指導を行う。 イ ドリル、宿題等を活用し、繰り返し練習し、漢字小テストで習熟を図る。	9月 年間を通して	
第2学年	ア 身近なことを表す語彙を増やすこと。 文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 イ 漢字の書きの習得に時間がかかっていること。	ア 語彙を増やせるように、言葉の仲間分けや意識した授業を行う。(シンキングツールの活用)日記、作文等を通して、日常で使う様々な語彙の習得を図る。 イ 漢字テスト練習の際にはアプリケーションの「ミライシード」を使用して苦手な漢字を反復練習する。 25問テストでは、再テストを行い、満点を目指す。	9月 年間を通して	
第3学年	ア 様子や行動、気持ちや性格を表す語彙の量を増やすこと。 修飾と被修飾との関係を適切に理解すること。 イ 当該学年までに学習した漢字を文や文章の中で正確に書くこと。	ア ICT を活用し、語彙や修飾語の問題を繰り返し行い、習熟を図る。 イ ドリルやICT を活用して習熟を図るとともに、学習の振り返りなど「書く」機会を多く設定する。学習した漢字や言葉を使用し、適宜指導を行う。	年間を通して	
第4学年	ア 段落の役割について理解すること。 指示語、接続語の役割について理解し、適切に記述すること。 イ 当該学年までに学習した漢字を文や文章の中で正確に書くこと。	ア 東京ベーシック・ドリル国語3・4年言語事項、作文等で習熟を図る。 イ 実施した小テストを蓄積していくことで、児童が既習漢字を振り返り、活用していくことができるようにする。また、ノートや作文等で随時指導を行う。	年間を通して	

第5学年	<p>ア 思考に関わる語彙の量を増やすこと。語や文章の構成や展開について理解し、適切に記述すること。</p> <p>イ 当該学年までに学習した漢字を文や文章の中で正確に書くこと。</p>	<p>ア 東京ベーシック・ドリル国語5・6年言語事項、意味調べ、作文等で習熟を図る。</p> <p>イ 小テスト、ドリル学習、宿題、漢字テスト等で学習した内容を、作文などで活用するように指導する。</p>	年間を通して	
第6学年	<p>ア 読む相手を意識して文章の構成を考え、自分の考えを明確に伝えられるようにすること。</p> <p>イ 当該学年までに学習した漢字を文や文章の中で正確に書くこと。慣用句や比喻表現の意味を理解すること。</p>	<p>ア 東京ベーシック・ドリル国語5・6年言語事項、日記、作文等で習熟を図る。自分の考えをより具体的にノート等にかけるように指導する。</p> <p>イ 日記、作文、小テスト、ドリル学習、宿題、漢字テスト等。教科書に出てくる表現を指導する。</p>	年間を通して	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について

- 1年：ロイロノート（教材配信、提出、回収）、ミライシード（朝学習等）、プログラミングで助詞の活用
【重点：個別】
- 2年：ロイロノート（教材配信、児童の考えの提出、回収、共有、シンキングルーツの活用）、ミライシード（習熟を深めるために朝学習や課題が早く終わった際に進める学習）
【重点：個別】
- 3年：ロイロノート（教材配信、提出、回収、児童同士の考えの共有）、ミライシード（朝学習や復習の時間等に活用）
【重点：個別】
- 4年：ロイロノート（教材配信、自分の考えの共有、提出、回収）、ミライシード（個人の理解度に合わせ、既習の内容についての復習）【重点：個別】
- 5年：ロイロノートによる児童の考えの共有発信、教材配信、提出、回収、ミライシード（習熟）、インターネット調べ学習
【重点：個別】
- 6年：ロイロノート（教材配信、児童の考えの共有、提出、回収）、ミライシード（習熟）、インターネット調べ学習
【重点：個別】

■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について

- 1年：ユニバーサルデザインを意識した板書作成、ICTを活用したノート指導
- 2年：学習のめあてを意識して授業に取り組めるような掲示、ユニバーサルデザインを意識した板書作成、1時間で学んだ事を振り返り共有していく場の設定
- 3年：ユニバーサルデザインを意識した板書作成
ICTを活用したノート指導
めあてに対する学習の振り返りの時間の設定
- 4年：毎時間、めあてで始まりまとめて終わる板書の実施、授業のユニバーサルデザイン化を意識しての取組
- 5年：毎時間、めあてで始まりまとめて終わる板書の実施、授業のユニバーサルデザイン化を意識しての取組
自分の考えを発表したり伝え合ったりするグループ活動の充実
一部の単元で児童が単元の学習計画を立て、見通しをもって学習し、めあてに沿った振り返り
- 6年：毎時間、めあてで始まりまとめて終わる板書の実施、授業のユニバーサルデザイン化を意識しての取組
自分の考えを発表したり伝え合ったりする活動
一部の単元で児童が単元の学習計画を立て、見通しをもって学習し、めあてに沿った振り返り